



鎮守の森だより

NPO法人社叢学会ニュース

第119号

2022年9月1日

11月26日・27日に社叢インストラクター養成セミナーと資格認定試験 関西定例研究会は10月1日(土)に伏見稻荷大社で

いよいよ関西定例研究会と社叢インストラクター養成セミナーを再開する。

いずれも下記の通りで、今回は社叢インストラクター養成セミナーと同時に資格認定試験も実施する。受験資格は今回と、過去のセミナー受講者もしくは技術士・樹木医・森林インストラクターなど、社叢学会が認めた資格の保持者。

なお、11月26日(土)午後の深町加津枝理事による講義は、関西定例研究会との共催で、一般の会員も

参加していただける。

セミナーの受講料は、正・協力・賛助会員は15,000円、市民会員は17,000円。申込者が3人に満たない場合は中止する。申込用紙は社叢学会ホームページ(<http://www.shasou.org/inst/ent.pdf>)に掲載しているので必要事項を記入の上、郵送されたい(mail不可)。申し込み締め切りは11月10日(木)必着。

なお、資格認定試験出願者は、受験料として5,000円を申し受ける。

11月26日(土)賀茂御祖神社

11月27日(日)伏見稻荷大社

10:00～10:15	ガイダンス：スケジュール説明 など 前迫ゆり	10:00～11:30	実習：事前授業、社叢観察、樹木・社叢実習 渡辺弘之(前迫)
10:15～11:45	実習：事前授業、社叢観察、樹木・社叢実習	11:30～12:00	講義：フィールドのまとめ等
11:45～12:15	講義：フィールドのまとめ等	12:50～14:10	講義：祭事に使う植物 渡辺弘之
13:00～14:20	講義：近江の社叢と文化的景観 ～比良山麓と奥永源寺の事例 から 深町加津枝	14:30～16:00	社叢インストラクター資格認定試験
14:30～15:50	都市と社叢 糸谷正俊		
15:50～16:10	総括 前迫ゆり	16:00～	閉講の挨拶 前迫ゆり

次回予告【第89回関西定例研究会】

- ◆日 時：10月1日(土) 13:00～16:00
- ◆場 所：伏見稻荷大社儀式殿(伏見区藪ノ内町68)
- ◆テーマ：御堂筋のイチヨウ並木について
- ◆講師：大槻 憲章(株公園マネジメント研究所技術顧問・元大阪府公園課長・NPO法人国際造園研究センター常務理事)
- ◆コメンテーター：糸谷 正俊(社叢学会顧問)
- ★ 終了後、前迫ゆり社叢学会副理事長・大阪産業大学教授の説明を聞きながら伏見稻荷大社の社叢観察(40分程度)



秩父大会フォトギャラリー

2022年6月11日(土)・12日(日)



藺田稔理事長の開会あいさつ



(↑) 柞の森の概要を説明する大澤太郎氏

(←) 説明を聞きながら柞の森を拝観



総会審議 議長は武田義明理事



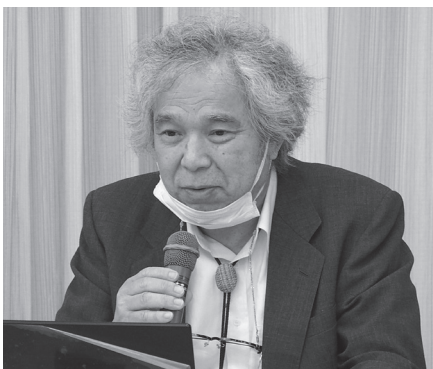
進め方などを説明する広井良典理事



上甫木昭春理事の提題



藺田理事長の基調講演



茂木栄理事



高井知紀兵庫県立大学准教授



懇親会に花を添えた秩父屋台囃子



鬱蒼とした社叢に包まれた三峯神社表参道(上)

極彩色の彫刻で美しく飾られた隨身門(中)

社頭で記念撮影(下)



境内で社叢などの説明を聞く(左上)

聳え立つご神木(左下)



(↑)境内を睥睨する狛狼



秩父今宮神社の大ケヤキの前で塩谷崇之理事(宮司)の説明を聞く



秩父神社御旅所の亀石 正面から(左)と横から(右)

book book book book book book

環境を守る森をつくる

原田 洋・矢ヶ崎 朋樹 著

環境を守る森をしらべる

原田 洋・鈴木 伸一・森 寿則

・目黒 伸一・吉野 知明 著

環境を守る森を評価する

原田 洋・井上 智 著

いずれも海青社 定価1,600円+税

故宮協昭当学会顧問の教えを受けた研究者たちが「環境を守る森、をつくる」と「環境を守る、森をつくる」との思いからまとめたシリーズ。

1970年代に、原田洋氏が出会った南国市の鎮守の森に環境保全林の理想形を見たことから、急速に進む都市開発・産業立地の一方で注目を集め始めていた緑化事業に、社叢を手本とすることを提唱。その手引きとなることを目的としてまとめられた。社叢に少しでも近づく環境保全林はどのようにすればできるのか、育成した森がどれほど社叢に近づいたかを知るための調査方法、当該の森がどこまで社叢に近づいているかを知るための評価方法など、森づくりの実践に役立つ知識満載の3冊となった。

事務局から

- 下記の通り、『社叢学研究』21号への投稿を募集しています。研究者の業績評価にもつながりますので、ぜひご投稿ください。論文には至らない準備段階の研究ノートや、短報、身近な活動、社叢の訪問記(紀行文)もお待ちしています。

学術論文としての体裁を整えるための書き方や、引用文献、参考文献の扱い、記載の仕方については社叢学会のホームページに公開しています(<http://www.shasou.org/journal/format.pdf>)。お目通し下さい。

- 関西定例研究会を開催いたします。また、福岡県支部では宗像国際環境会議(10/26~28)に併せての開催を予定しています。社叢インストラクター養成セミナーも再開、今年からは資格認定試験も同時に実施いたします。受験だけでも可能です。福岡での定例研究会の詳細、セミナー申し込み用紙・資格試験出願用紙など詳細はホームページに載せますのでご参照ください。
- 会費をお支払いいただいた方には順次、会員証をお送りいたしております。お支払いいただいたにもかかわらず会員証が届かない場合は、お手数ですが事務局にご一報ください。

編集後記

はいはい、手抜きですよ、2・3面のフォトギャラリー。だって! 37℃とあって、体感温度は50℃くらいだし、この事務局、西側に広々と窓があって、明るくてよいのだけれど、午後からの日当たりがっ! 入居時(20年近く前!)に新しくしてくれたとは言え、いささか古めかしくなったエアコンが、あまり効かなひ。。。椅子の黒いシートは熱発するし、ズボンにはおねしょをしたような汗染みができるし。こんなところに居てはおられないではないか!

エアコンのついていないロンドンの古い地下鉄(しかも狭い!)のことを思うと往復の電車のは天国! おかげさまでぐっすりしっかりお昼寝ができます。。。 (藤岡 郁)

東日本大震災社叢復興支援事業報告書を発行

8年間の全てを記録 現地調査員の生の声も 頒価 3,000円

掲 示 板

『原稿募集!』

『社叢学研究』第21号への投稿:論文、研究ノート、短報、資料紹介や調査報告(各400字詰原稿用紙40枚以内)と「鎮守の森の活動報告(祭、音楽会、調査、ワークショップなどの実施報告、抱える問題点など)」「社叢訪問記」(各1,200字程度)を募集いたします。締め切りは、論文等10月31日(月) 活動報告等12月23日(金) いずれも必着。

* 書評欄では会員の皆さまの著作を取り上げています。出版された方は、ぜひご献本下さい。

発行人 社叢学会事務局 〒604-8115京都市中京区雁金町373番地みよいビル303号

TEL・FAX 075-212-2973

URL <http://www.shasou.org> E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp

facebook <https://www.facebook.com/shasou>

社叢学会関東支部 〒368-0041 秩父市番場町1-1 秩父神社社務所内

TEL080-1514-5032 E-Mail shasougakkai@hotmail.com